

## 2008/01/16-21:00 toto助成、5年ぶり高水準へ＝08年度 10億円、芝生化事業など復活

スポーツ振興くじ(サッカーくじ、愛称toto)を運営する日本スポーツ振興センターは16日、第1回スポーツ振興事業助成審査委員会(委員長・江田昌佑鹿屋体大名誉教授)を開き、2008年度の助成方針を確認した。同センターの見込みでは、07年度のサッカーくじ売り上げは最高当せん金6億円のBIG(ビッグ)が起爆剤となって前年度の4倍に近い520億円に上り、収益は110億円。ここから10億円強を08年度の助成金に回すとしており、5年ぶりの高水準となる。

同センターは、toto助成の中核の1つに位置付けながら4年間凍結していた地域スポーツ施設のグラウンド芝生化事業への助成募集を復活させるなど、ここ数年続いていた事業縮小傾向から脱却。17日にも募集を始め、4月の審査委員会で助成事業などを決める。

01年度にスタートしたtotoは初年度643億円を売り上げたが、2年目から減少続き。収益の中から翌年度にスポーツ界に助成した金額も02年度の約58億円を最高に、03年度は約24億円、04年度からは約5億5000万円、約2億4000万円、約1億1000万円と低調で、07年度は約8000万円。これに伴い、助成対象の事業も漸減していたが、スポーツクラブ創設の支援など数項目が復活した。

07年度収益見込み110億円のうち、累積赤字解消に向けた長期借入金返済に95億円を充て、国庫納付を差し引いた10～11億円を助成金とする。(了)

江田昌佑(えだ・まさすけ)